

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公表番号】特表2012-500089(P2012-500089A)

【公表日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2011-523881(P2011-523881)

【国際特許分類】

A 47 L 13/16 (2006.01)

D 06 M 15/263 (2006.01)

D 06 M 10/00 (2006.01)

D 04 H 1/542 (2012.01)

【F I】

A 47 L 13/16 A

D 06 M 15/263

D 06 M 10/00 Z

D 04 H 1/54 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月10日(2012.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

粘着性不織シートの作製方法であって、
 稠密化された粘着性ウェブを形成する工程を含み、この工程が、
 かさ高回復性不織纖維ウェブを提供することと、
 前記かさ高回復性不織ウェブに接着剤を適用することと、
 前記稠密化された粘着性ウェブを少なくとも 225°F (107)の温度に曝露して、
 開いた、ふくらした形態を有するかさ高回復された粘着性ウェブを生成することによつて、前記稠密化された粘着性ウェブをかさ高回復することと、
 前記かさ高回復された粘着性ウェブから掃除用ワイプを形成することと、
 を含む、方法。

【請求項2】

前記稠密化された粘着性ウェブが第1の厚さを有し、前記かさ高回復された粘着性ウェブが第2の厚さを有し、前記第2の厚さが前記第1の厚さより大きい、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記稠密化された粘着性ウェブが、隣接する纖維間の第1の平均間隔を有し、前記かさ高回復された粘着性ウェブが、隣接する纖維間の第2の平均間隔を有し、隣接する纖維間の第2の平均間隔が、隣接する纖維間の第1の平均間隔より大きい、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

接着剤を適用する工程が、感圧接着剤組成物を前記不織纖維ウェブに適用することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記接着剤を適用する工程の直後、及び前記稠密化された粘着性ウェブをかさ高回復する工程の前に、前記粘着性ウェブへの圧縮力の適用がされない、請求項1に記載の方法。